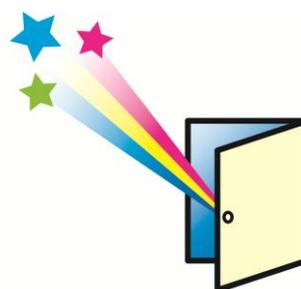


## 静岡市は“シズオカ型”オープンデータを本格的に推進します！

### オープンデータとはどんなもの？

保有するデータを、機械判読可能な形式で公開し、営利・非営利を問わずに利用・再利用を可能としたデータのことを言います。さらには、そのようなデータを公開し、民間におけるデータの利活用を促す取り組みまでを含めて「オープンデータ」と称することもあります。オープンデータの推進は、官民連携による公共サービスの実現が期待でき、行政の透明性・信頼性の向上にもつながります。



# OPEN!

SHIZUOKA CITY OPEN DATA POLICY

※静岡市オープンデータロゴマーク

### “シズオカ型”オープンデータの推進 とは？

多くの自治体が「保有データを公開する」ことを主眼としているのに対し、「保有データを利活用してもらう」ことに重点を置いた、全国でも初めての取り組み。

市内の関係課 10 課で市内プロジェクトチームを立ち上げ、“データの選定” “指針の策定” “利活用されるにはどうしたらよいか” などを検討。NPO 法人 静岡情報産業協会と連携してデータ利用側（企業等）にニーズ調査（どんなデータがほしいか、データを利活用したどんな



アイディアがあるか、データはどんな形式がよいか、等) を実施、市が保有するデータとニーズ調査の

結果をマッチングし、ニーズが高い約 330 のデータに絞り込みました。データの選定には、オープンデータの第一人者である川島 宏一教授も参加。また、全職員を対象にオープンデータ研修を実施。担当部署だけでなく、全職員がオープンデータの意識（積極的な情報公開）を持って取り組んでいきます。



川島 宏一 氏

(かわしま ひろいち)

現：筑波大学システム情報系  
社会工学域 教授

政府の IT 総合戦略本部電子

行政オープンデータ実務者会議構成員。平成 26 年度総務省の ICT 地域マネージャーとして、静岡市のオープンデータの推進についての市内プロジェクトチームに参加頂いた。

**“データの利活用に重点をおいた静岡市の取り組みは全国でも例がなく、非常に素晴らしい。”**

〔略歴〕1959 年生まれ。国土交通省、インドネシア住宅省、世界銀行を経て、佐賀県 CIO、佐賀県特別顧問、大阪市特別参与も務めた。

# 本日よりニーズの高いデータの一部を〔試行版〕にて公開！

- リニューアルした市のホームページに“試行版”として31データセットを公開。

URL: [http://www.city.shizuoka.jp/186\\_000001.html](http://www.city.shizuoka.jp/186_000001.html)

市トップページ ⇒ 「市政情報」 ⇒ 「情報化・情報セキュリティ」  
⇒ 「オープンデータ」

『食品衛生関係の営業許可施設の情報』、『避難場所の情報』、『AEDの設置情報』、『ごみの収集日の情報』など。【※資料2参照】

- ※ 『食品衛生関係の営業許可施設の情報』【政令市で初公開！】  
…レストラン、喫茶店、コンビニ等、食品を扱う店舗の新規開店情報。毎年、公文書公開請求が多いデータ。



※〔試行版〕オープンデータページ

## 利活用のイメージ



### オープンデータ利活用のイメージ

昨年度、避難場所のオープンデータを活用し、スマートフォンのGPS機能を利用して、現在地から一番近い避難場所までの経路を表示して津波からの避難誘導をする実証事業を実施。(株)しずおかオンラインの協力で地域の情報が満載されたアプリ「まちぽ」が有事に災害モードに切り替わる。現在、開発途中。

## 今後の取り組み

- 静岡市独自の「静岡市オープンデータカタログサイト」を公開〔9～10月頃〕
  - ニーズの高いデータを本格的に公開！
  - 多くのデータも複数のカテゴリから探し出せる検索性に優れた機能
  - データの利活用事例や夢のあるアイデアの掲載
- サイトの周知も兼ねた「(仮称)シズオカ オープンデータ アイディアコンテスト」の開催〔12～1月頃〕



問い合わせ：情報管理課 情報化推進係  
電話 054-221-1341 内線 81-2231